

講義科目名称： 多文化共生地域課題 1（山梨県の多文化化） 授業コード： 62000019

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期（4Q）	1・2・3・4	1	選択
担当教員			
長坂 香織			
区分	科目番号	曜日・時限	
添付ファイル			

対象学生	全学部、山梨大学生、科目等履修生（社会人・高校生等）、特別聴講生（大学コンソーシアムやまなし等）
授業の目的	山梨県には20,000人を超える外国人の方が住んでおり、母国と異なる文化やルールの中で様々な不安や悩みを抱えながら、山梨県民として生活している。こうした中、多文化共生の各分野で活躍されているゲスト講師から各現場の状況と取組みについて学ぶ。 本講義を通して、全ての外国人を孤立させることなく、社会を構成する一員として受入れていくという視点に立ち、多文化共生社会の実現に向けた課題やその解決策等を理解し、考察することを目的とする。  （2年生以上の学士基盤力）自然・社会・文化理解、想像力・表現力、実践力・問題解決力、自己学修力、地域・国際コミットメント力
学士力A	教養力
学士力A（ウエイト）	○
学士力B	実践力
学士力B（ウエイト）	◎
学士力C	倫理・シティズンシップ力
学士力C（ウエイト）	○
学士力D	
学士力D（ウエイト）	
学士力E	
学士力E（ウエイト）	
学士力F	
学士力F（ウエイト）	
学士力G	
学士力G（ウエイト）	
学士力H	
学士力H（ウエイト）	
到達目標No.1	多文化共生社会の実現に向け、地域社会の抱える様々な課題を理解できる。
到達目標No.1（学士力対応）	教養力
到達目標No.2	地域課題の解決に向け考察することができる。
到達目標No.2（学士力対応）	実践力
到達目標No.3	多文化共生の社会づくりに主体的に参画する姿勢を身につけ、自らの行動に反映させることができる。
到達目標No.3（学士力対応）	倫理・シティズンシップ力
到達目標No.4	
到達目標No.4（学士力対応）	
到達目標No.5	
到達目標No.5（学士力対応）	

成績評価の方法	評価の方法	割合(%)	評価の基準
	目標No.1	50%	振り返り(20%)と課題レポート(30%)
	目標No.2	30%	振り返り(10%)と課題レポート(20%)
	目標No.3	20%	授業中の質疑応答、振り返り、課題レポート
授業の方法	パワーポイント等を用いて講義形式で行う。 ゲスト講師による講義に続き、質疑応答、ディスカッションを行う。		
受講に際して・学生へのメッセージ	多文化共生の各分野の最前線で活躍するゲスト講師から、現場の生の声を聴くことができる絶好の機会です。履修者間のディスカッション、質問や意見、感想など積極的な参加を期待します。		
教科書	テキスト	なし	
	参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>『多文化共生事例集(令和3年度版)』 <a href="https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/chiho/tabunkakyousei_suishin_r03.html">https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/chiho/tabunkakyousei_suishin_r03.html</a></li> <li>参考図書、参考資料は随時指示する。</li> </ul>	
授業計画の概要	1		
	タイトル	(12/5木) オリエンテーション、多文化共生社会づくりに向けた山梨県の取り組み	
	授業内容	山梨県内で多文化共生に向けた取り組みが、1990年代から今日に至るまでどのように行われてきたか、またその課題の変遷について学ぶ。ゲストスピーカー：(公財)山梨県国際交流協会	
	事前学習	ゲストスピーカーに応じた事前資料の学習	
	事後学習	振り返り	
	2		
	タイトル	(12/12木) 日本で活動する外国人の在留資格	
	授業内容	日本で活動する外国人の在留資格にはどのような在留資格があるか、また在留資格をめぐる様々な課題について学ぶ。ゲストスピーカー：市川雄資(山梨県行政書士会 国際部部長)	
	事前学習	ゲストスピーカーに応じた事前資料の学習	
	事後学習	振り返り	
	3		
	タイトル	(12/19木) 多文化共生社会の最前線～地域日本語教室の現場から～	
	授業内容	現在、文化庁が推進している地域日本語教育の総合的体制づくりと、山梨県内での地域日本語教室の現状と課題について学ぶ。後半では、地域日本語教室パートナーの視点からみた参加教室の状況と課題について聴く。ゲストスピーカー：古屋玲子(山梨県地域日本語教育総括コーディネーター)、パートナーについては未定	
	事前学習	ゲストスピーカーに応じた事前資料の学習	
	事後学習	振り返り	
	4		
	タイトル	(12/26木) 児童福祉領域での外国にルーツをもつ子どもと親への課題と支援	
	授業内容	児童福祉領域に見られる外国にルーツを持つ子どもと親への課題と支援について学ぶ。ゲストスピーカー：小林真理子(山梨英和大学教授)	
	事前学習	ゲストスピーカーに応じた事前資料の学習	
	事後学習	振り返り	
	5		
	タイトル	(1/9木) 医療・介護の現場	
	授業内容	技能実習・特定技能の在留資格の外国人が多く働いている介護分野の状況と課題について、また日本語が十分でない外国人へのサービスとしての医療通訳の状況と課題について学ぶ。ゲストスピーカー：介護分野は未定、医療通訳については長坂が担当する。	
	事前学習	ゲストスピーカーに応じた事前資料の学習	
事後学習	振り返り		
6			
タイトル	(1/16木) 外国人児童生徒支援/外国につながる子どもの学習支援・居場所		
授業内容	外国人児童生徒支援について教育委員会と学習支援/居場所の運営者、それぞれの立場から現状と課題について学ぶ。ゲストスピーカー：山田睦子(甲府市教育委員会学校教育課指導主事)、学習支援/居場所運営者は未定		
事前学習	ゲストスピーカーに応じた事前資料の学習		

	事後学習	振り返り
	7	
	タイトル	(1/23木) 中央市における多文化共生～現状と課題～
	授業内容	中央市における多文化共生について、行政および国際交流協会の立場から見た、現在までの課題の変遷と対応について学ぶ。ゲストスピーカー：比志保（中央市国際交流協会会長）、山本由起子（中央市企画課課長）
	事前学習	ゲストスピーカーに応じた事前資料の学習
	事後学習	振り返り
	8	
	タイトル	(2/6木) 発表と意見交換（ディスカッション）、まとめ
	授業内容	発表をめぐって異なる文化を背景に持つ人々と共生する上での様々な課題の解決に向けた意見交換を行う。
	事前学習	ゲストスピーカーに応じた事前資料の学習
	事後学習	最終課題レポート
実務経験のある教員による授業科目の概要	多文化共生について、行政、医療、福祉、教育、地域社会など各分野で実際の業務に従事するゲスト講師を招へいし、多文化共生の社会づくりに向けた多面的な講義を行う。	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目は、18：15～19：45の時間帯に山梨県立大学飯田キャンパスで実施する（他大学の学生・社会人はオンライン可）。</li> <li>・講義順及びゲスト講師名は現在の予定であり今後変更する可能性がある。</li> <li>・他大学の学生や社会人等とともに学ぶ「PENTAS YAMANASHI」の科目です。</li> </ul>	